

Q 最近、「ソーシャルビジネス」という言葉をよく耳にします。私も第二の人生に向けて社会に役立つ事業を立ち上げたいと考えています。「ソーシャルビジネス」について簡単に教えてくださる。

A 「ソーシャルビジネス」や社会が抱えている問題は多岐にわたります。老若男女問わす、「もともと社会に役立つ用いて解決していく活動になります。営利・非営利など法人格は問われません。貧困、教育、子育て、介護、福祉、環境、まちづくりなど、地域

「ビジネス」は利益の追求や株主への配当などが重視されるのに対して、「ソーシャルビジネス」は地域や社会に与える影響、つまり「どれだけ社会問題を解決したか」が重視されます。

「ソーシャルビジネスを立ち上げるに当たって、社会問題を解決するために活用できる資本は、お金だけでなく、人への迷惑をかけたとしても良いことにはなりません。複雑に絡み合う社会問題の解決に向けて、「自身を律し、他人からの「支援」や「共感」を得ていくことが大切です。

ソーシャルビジネスとは

仕事があったら」と「ソーシャルビジネス」を志す方々が増えています。

「自身に問い掛けていたことが三つあります。一つ目は「自身にとって何が大切か?」という事です。二つ目は「自身が持っている技術、経験や人のつながりなどたくさんあります。一つ目は「自身に何が足りないか?」という事です。三つ目は「自身が持っている技術、経験や人のつながりなどたくさんあります。」

「一般的なビジネス」と「ソーシャルビジネス」との大きな違いは、その「成果」にある。ビジネスとして収益を上げ、事業の継続を目指す点についてはどちらも変わりません。しかし、「一般的な

「一般的なビジネス」と「ソーシャルビジネス」との大きな違いは、その「成果」にある。ビジネスとして収益を上げ、事業の継続を目指す点についてはどちらも変わりません。しかし、「一般的な



埼玉新聞 経済欄

連絡先・一般社団法人埼玉
中小企業診断協会(204
8・762・3350)